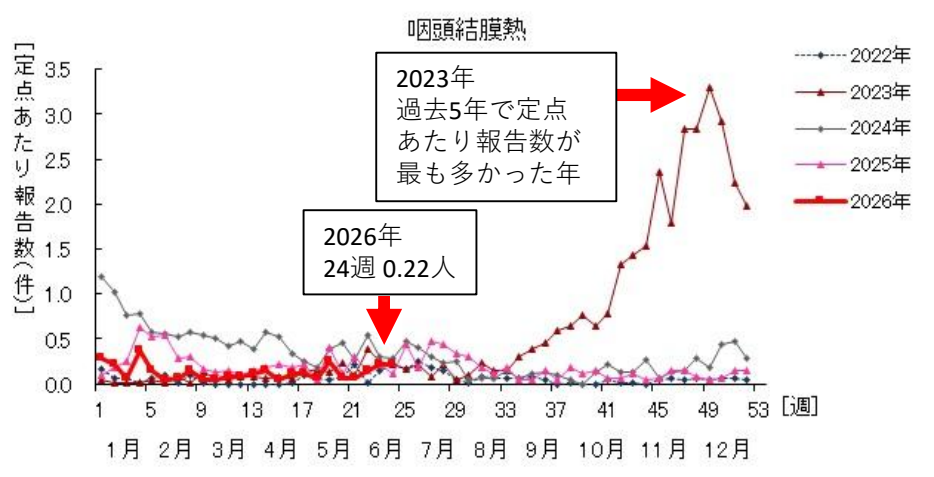
とちぎ感染症情報　７月号

（最新の患者情報）

発生動向等サーベイランス情報

咽頭結膜熱（プール熱）について

咽頭結膜熱▶
（栃木県 HP）



▲栃木県における咽頭結膜熱の定点当たり報告数の推移
2022年第１週～2026年第24週（2026年５月22日現在）

咽頭結膜熱（プール熱）はアデノウイルスを原因とする感染症で、小児を中心に、例年初夏と初冬に流行します。県内における2026年第24週（６月８日～６月14日）の定点当たり報告数は0.22人と落ち着いている状況ですが、感染拡大には引き続き注意が必要です。

小児を中心とした感染症ですが、子供を介して職員が感染し、施設内で広がる可能性もあります。アルコールは効きにくいため、石けんを使ってこまめに手洗いをし、タオル等の共用を避けるなどの対策を徹底しましょう。

感染対策のポイント

シリーズ24：皆で使用する物品にも注意

咽頭結膜熱（プール熱）への最大の予防策は、石けんと流水による丁寧な手洗いです。また、共有する物品にウイルスが付着し、そこから拡がることもあります。タオルはもちろん、おもちゃなど、特に大勢のお子さんが触れるものには注意が必要です。汚染された物品や環境の消毒酸ナトリウムが有効です。また、症状が消失した後も便からには次亜塩素数週間にわたりウイルスが排出されることがあるため、おむつ交換に伴う対策を十分行うことが感染拡大防止の鍵となります。

感染症専門家からのアドバイス



咽頭結膜熱（プール熱）は、子どもに多い感染症というイメージが強いですが、ウイルス自体の感染力が非常に高く、年齢を問わず感染します。特に高齢者施設では、集団発生や重症化のリスクに注意が必要です。発熱や目の充血・めやになどの症状が見られる利用者様がいれば、早めに個室へ移動して頂くなどの対応を検討しましょう。